

耐空性改善通報 TCD-7153-2007（平成 19 年 8 月 26 日付）による指示内容
 （米国連邦航空局 AD2007-18-51（現地 25 日発行）による）

○対象となる航空機： 日本航空インターナショナル B737-800 型 5 機
 スカイマーク B737-800 型 5 機
 エアーニッポン B737-700 型 13 機
 計 23 機

○指示内容：

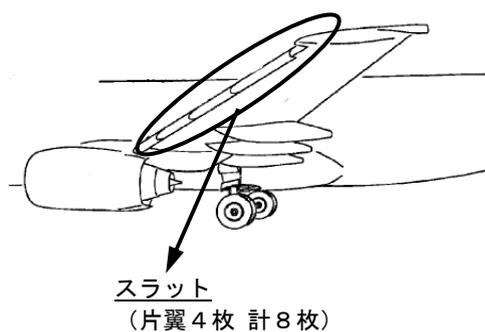
（1）機構部の取付状態の点検

- ① 主翼前縁部の全てのスラットのトラック・ダウンストップ・アセンブリの取付けが適正であることを点検
- ② 検査の結果、不具合が発見された場合には、次回の飛行までに取付部を交換するとともに、スラット・カン内部に異物及び損傷の無いことを点検

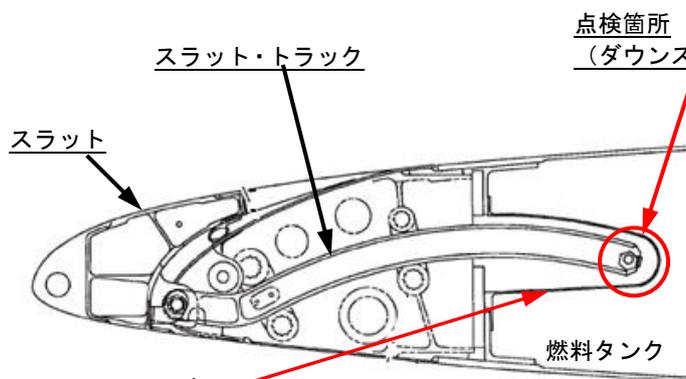
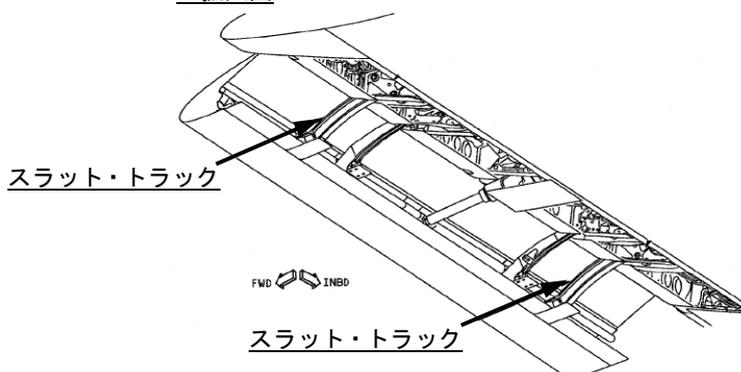
（2）ナットの締付け

主翼前縁部の全てのスラットのトラック・ダウンストップ・アセンブリのナットを適正なトルク値で締付け

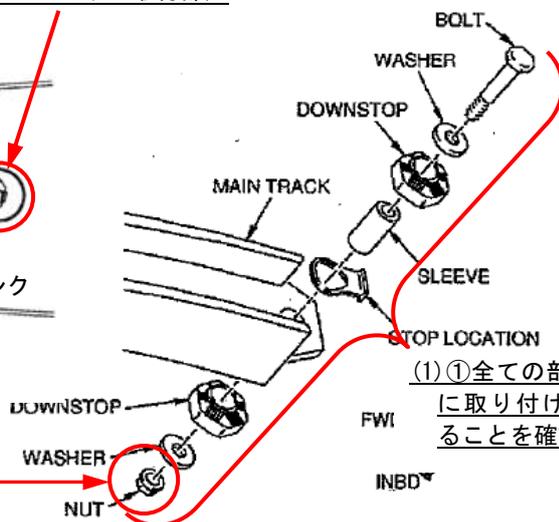
○実施時期： 9 月 18 日（火）まで（ただし、（1）の点検は初回点検後 3000 飛行時間を超えない間隔で繰り返し）



スラット 1 枚（2 本のスラット・トラックあり）の拡大図



点検箇所
 （ダウンストップ取付部）



（1）②取付部に不具合を発見した場合には、内部に異物・損傷のないことを確認

（1）①全ての部品が適正に取り付けられていることを確認

（2）ナットを適正なトルク値で締付け